

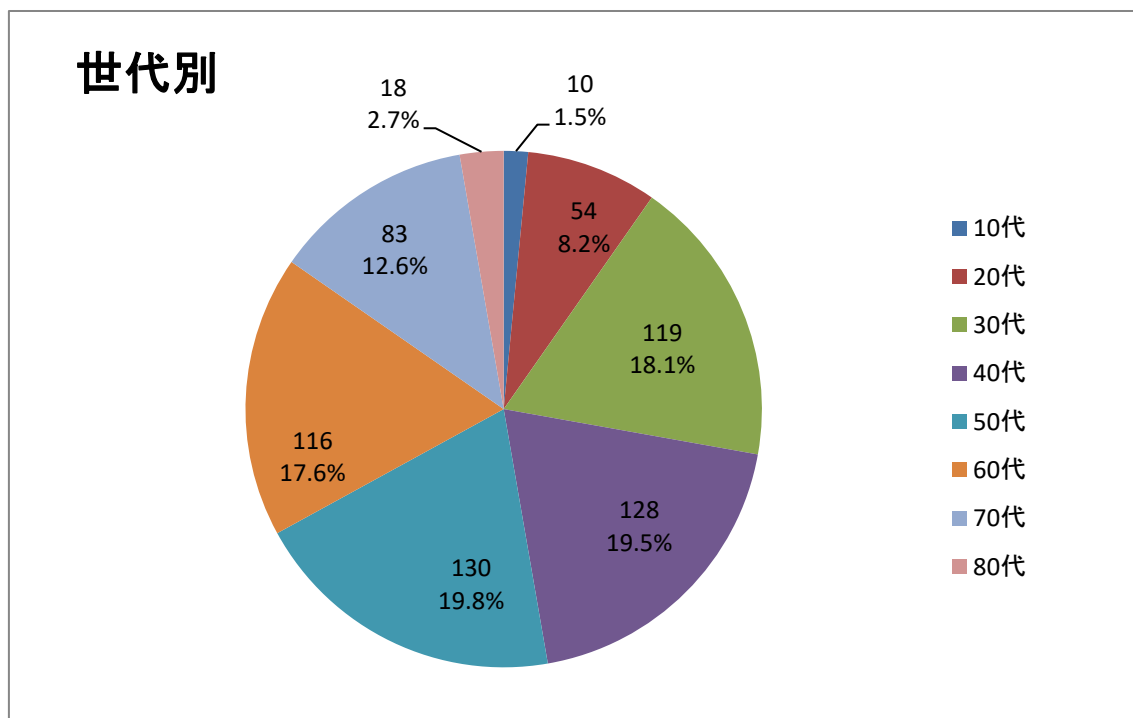
第5回eモニターアンケート 「安城市防災行政アプリと災害時の情報収集について」

実施期間
回答数

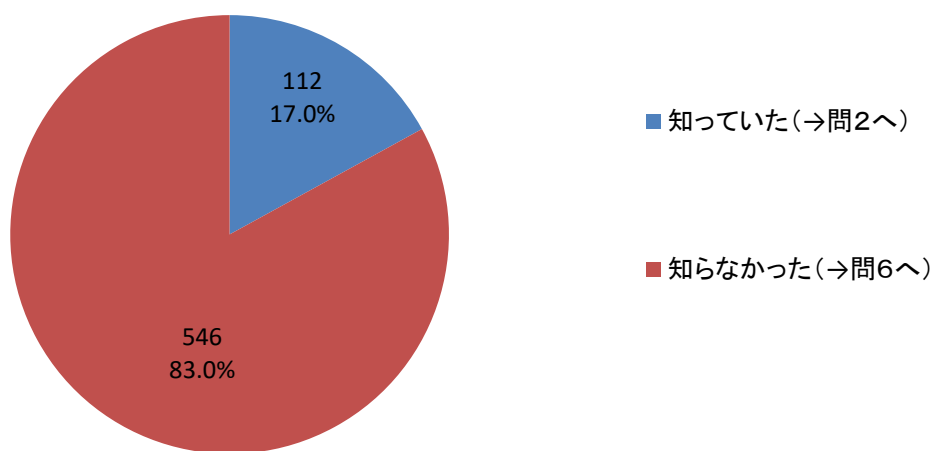
令和5年8月25日 ~
658 人

令和5年9月1日

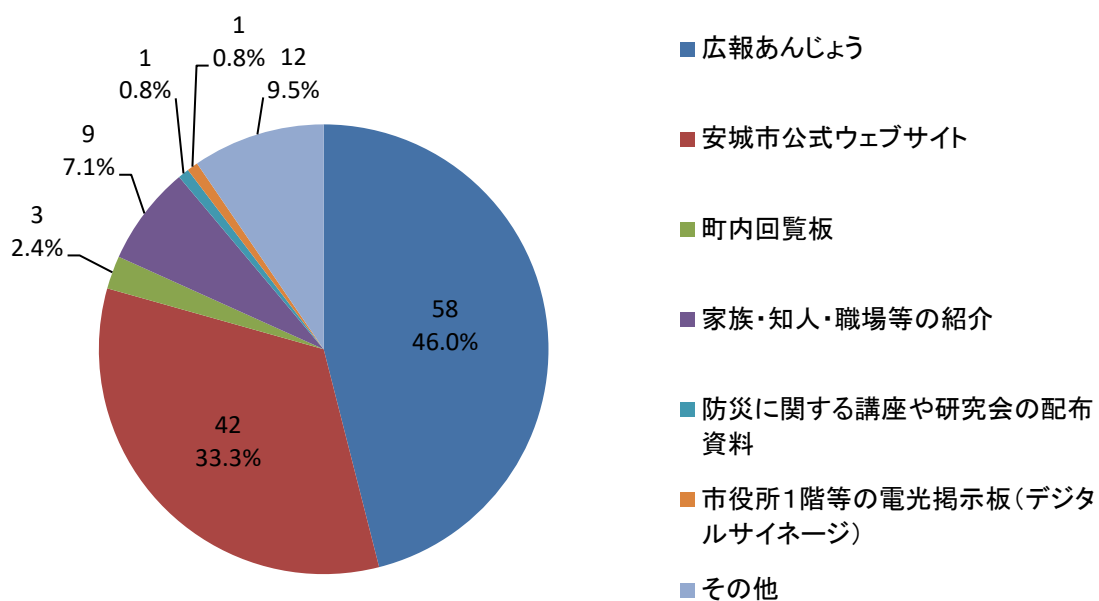
※単位は全て、円グラフは人（割合）、棒グラフは人



問1：「防災アプリ」を知っていましたか。（※このアンケートをきっかけに知った場合は除く。）



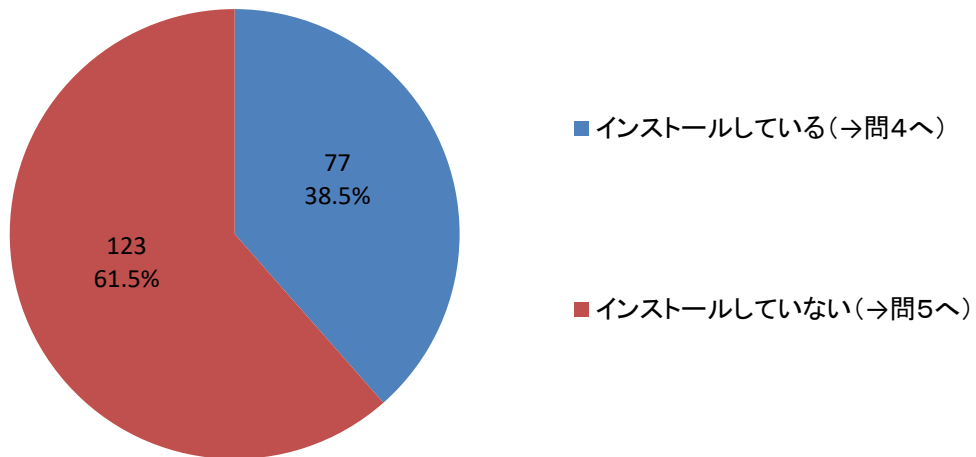
問2：どのようにして防災アプリを知りましたか。



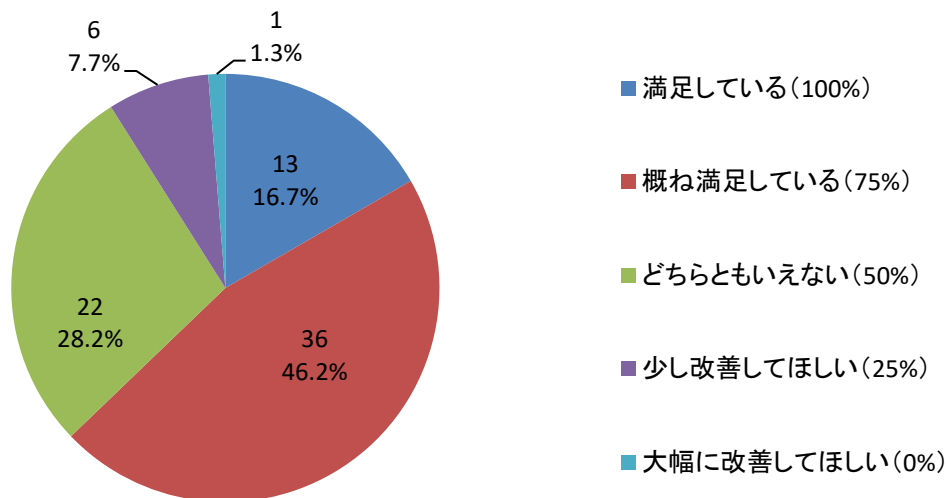
【主なその他の意見】

- ・アプリストアでおすすめに出てきた
- ・今回のアンケートで知った
- ・市会議員
- ・防災ラジオ更新のために、危機管理課に行った時

問3：防災アプリをインストールしていますか。



問4：防災アプリを使用した感想を教えてください。



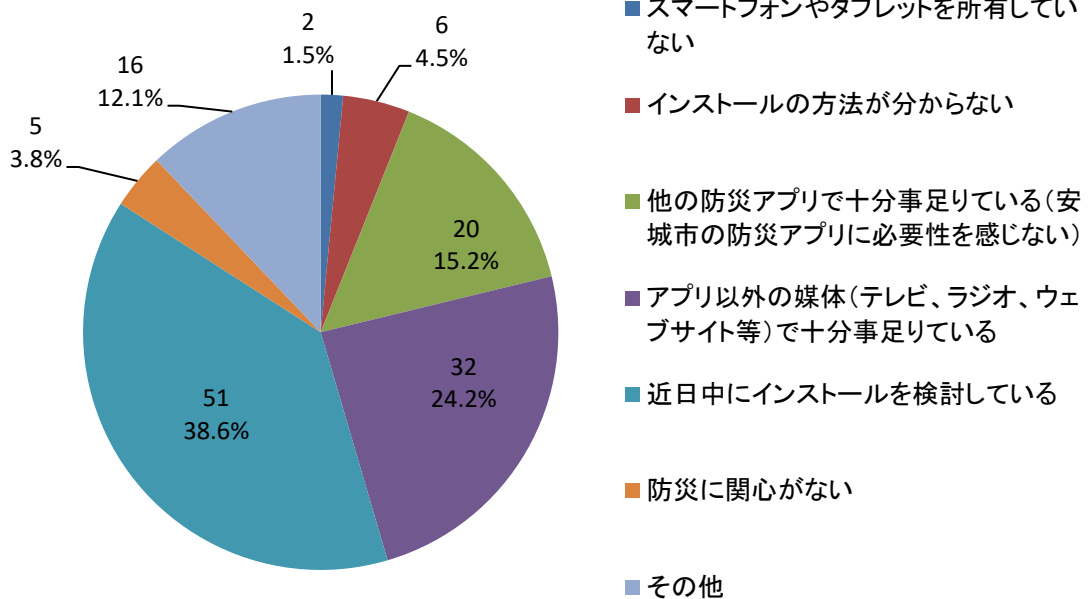
【少し改善してほしいの意見】

- ・通知が多い
- ・通行止めの箇所がどこかが分かりにくい
- ・先日の三河地方の地震(震度1)の情報が流れなかった。この地方に関係するものは全て流してほしい。
- ・リアルタイムではないメッセージ履歴が残っているので見にくい
- ・音に驚く。全く関係のない地区の情報もあるので難しいところです。
- ・着信音が解りづらい。そしてさらに危険情報をもっと解りやすく詳しくしてほしい。

【大幅に改善してほしいの意見】

- ・現状は各種リンクを集めたのみ。マップ現在地表示、スマホ画面対応など、現実的に使えるものに改善を。

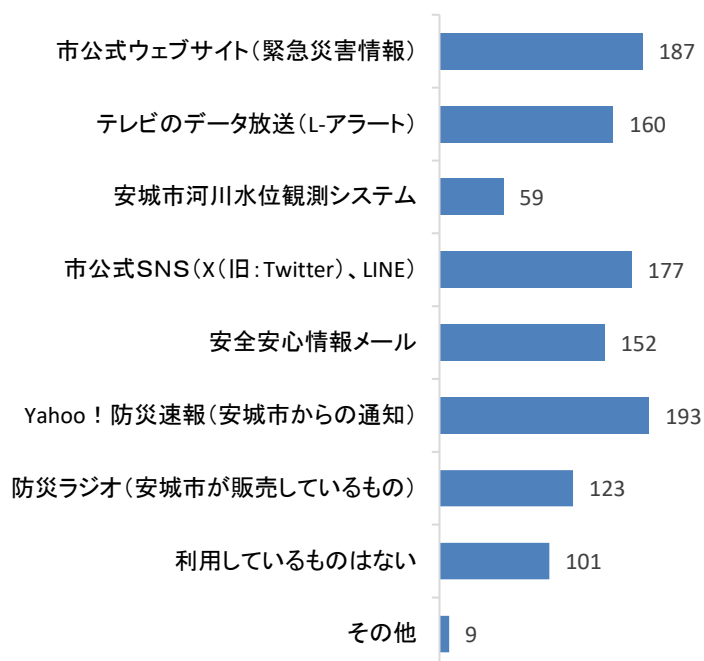
問5：防災アプリをインストールしていない理由を教えてください。



【主なその他の意見】

- ・スマホの容量を使いたくない
- ・検討したが、既に類似のアプリをインストールしているので通知がかぶる。市外に出ている時に役に立たなさそうなので、登録地と現在地と両方の情報が届く現在のアプリの方が魅力的である。
- ・内容をあまり知らなかったので
- ・安城市のLINE情報、Yahoo天気等で事足りてると思う
- ・アプリを増やしたくない。常時マナーモードにしているのでお知らせに気づかない。
- ・家族がインストールしているから
- ・安心して使用できるかわからない。しばらく様子を見て問題なければ入れようかな。慌てない。

問6:防災アプリ以外で、市が発信する災害情報のうち、あなたが利用しているものを教えてください。(複数回答)



【その他の意見】

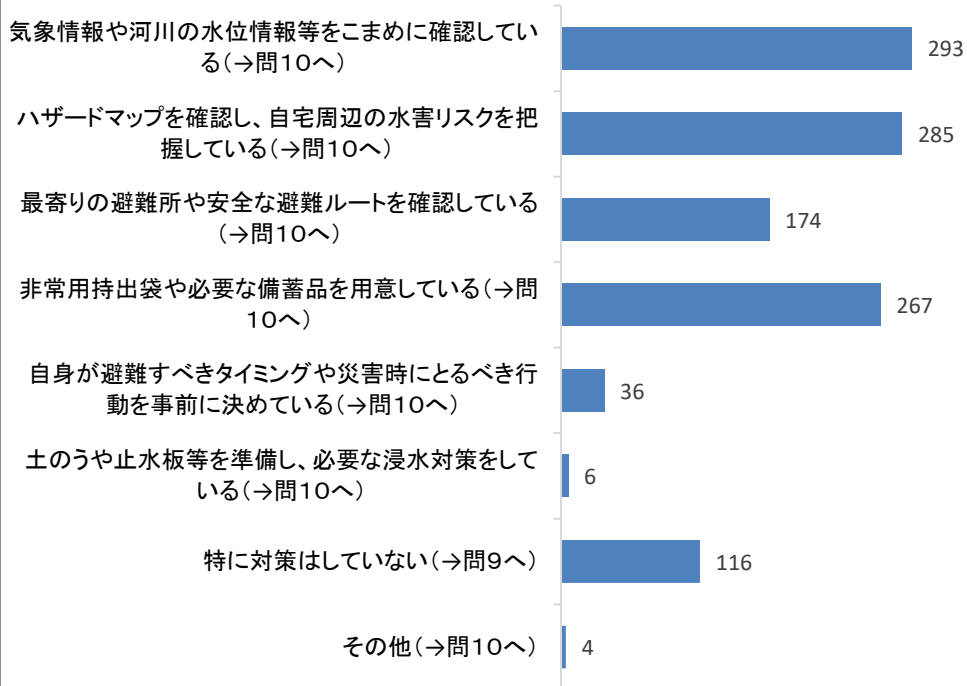
- ・キャッチ放送
- ・NHKアプリ
- ・気象庁

問7:「安城市防災行政アプリ」に代わる愛称を募集中です。親しみやすく、愛される名称をご記入ください。

【主な意見】

- ・あんぼう
- ・あんさい
- ・あんしん
- ・あんぼー
- ・あんぼうさい
- ・安城防災
- ・あんあん
- ・安城防災なび
- ・あんまも
- ・まもるん
- ・あんぜん
- ・あんしん防災
- ・あんプロ
- ・安城DRR
- ・安城アラート
- ・あんセーフ
- ・安備ジョン(アンビジョン)
- ・soubi (※「早めの避難準備」の意)
- ・安全城守
- ・愛称は不要・現状のままで良い(安城市防災行政アプリ)

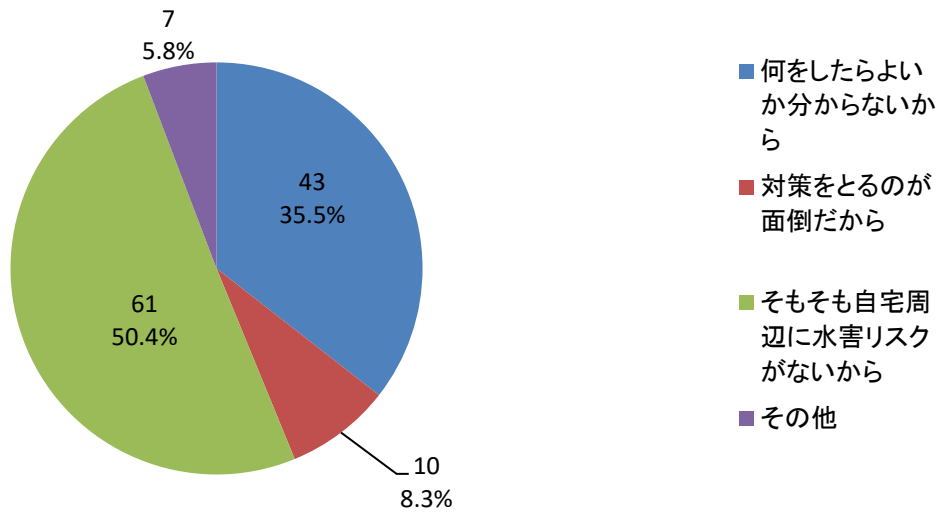
問8:あなたがやっている水害への備えを教えてください。
(複数回答)



【その他の意見】

- ・ベランダの物干し竿や植木鉢などを飛ばないように降ろしたり、紐で固定している。風が特にきつい場合には窓のガラスに養生テープで補強している。
- ・NHKニュース防災アプリを使用
- ・家族の避難場所を決めている
- ・側溝の掃除

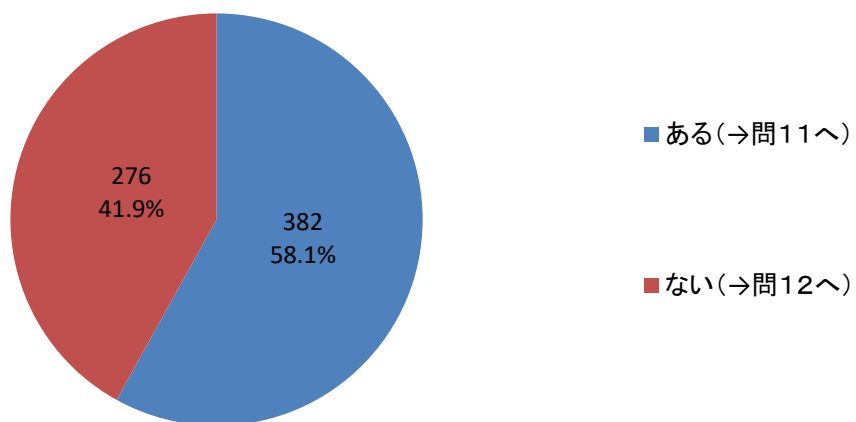
問9: 対策をしていない理由を教えてください。



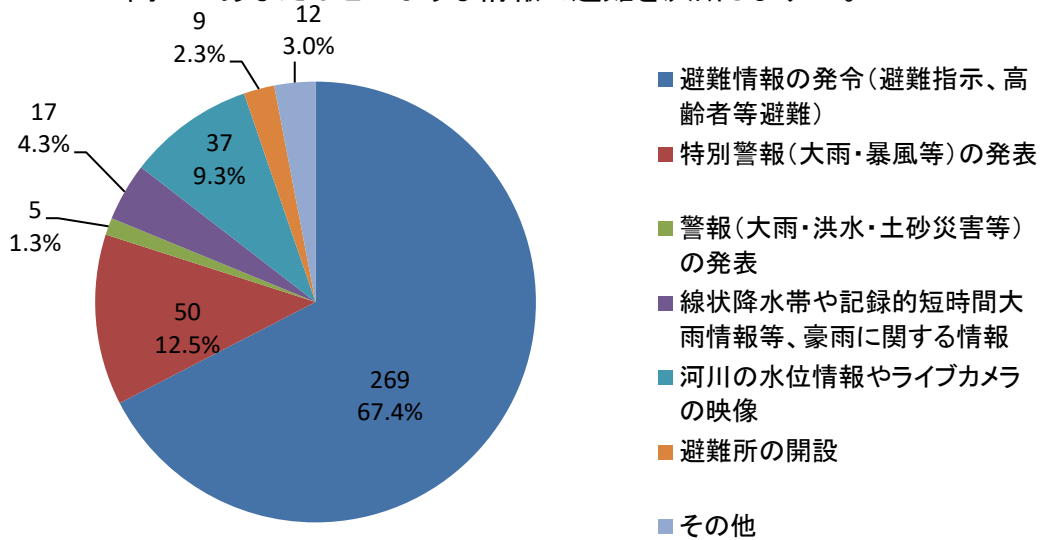
【その他の意見】

- ・ハザードマップや非常用アイテムなどは所持しているが、すぐに持ち出せるように纏めていないから
- ・自宅付近の川の氾濫が起こることはよっぽどないだろうと考えてしまっているから
- ・マンションに住んでいて水害はあまり関係ないと思うから
- ・なるようにする。出来る。
- ・水害リスクが低いと思っているから
- ・一人住まいのアパートだからその時すぐ対応できると思う
- ・自宅の横を追田川が流れているので、氾濫したら防ぎようがありません

問10: 大雨や台風のとくにあなたが避難を決断するきっかけとなる情報はありますか。



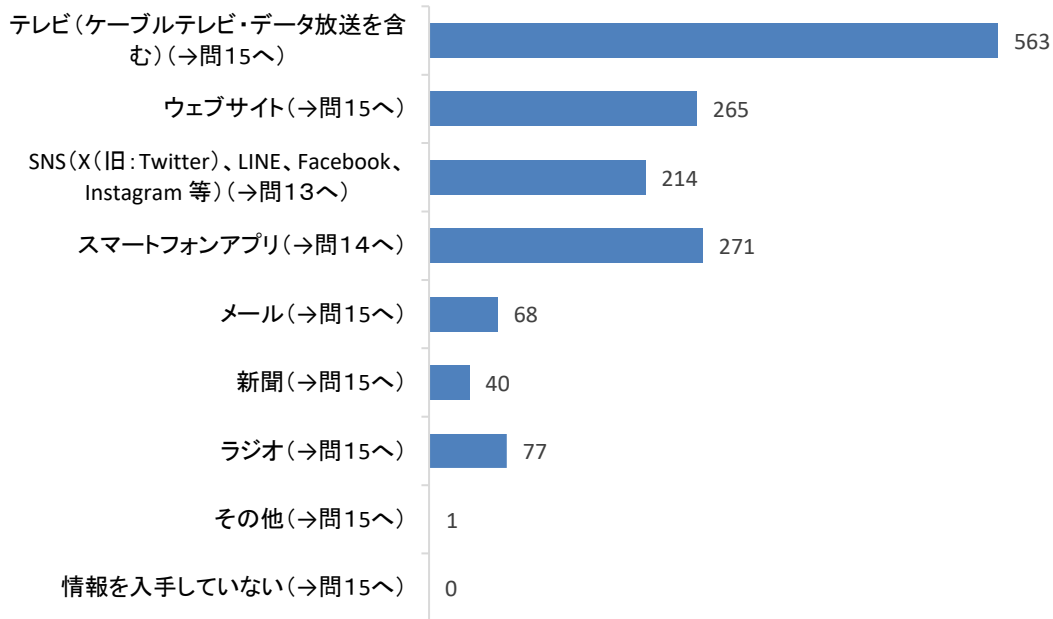
問11: あなたはどのような情報で避難を決断しますか。



【主なその他の意見】

- ・キャッチネットワーク
- ・電車が止まったら
- ・特別警報と近くの河川の水位情報から総合的に判断する予定
- ・周りの様子で自主的に
- ・家の前を流れる用水路(普段、水が流れていない明治用水路)の水量を見て

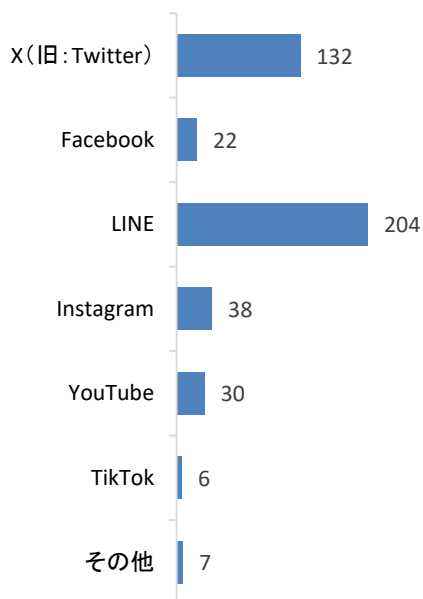
問12: 台風や大雨のときに気象情報等を得るためのツールを教えてください。(複数回答)



【その他の意見】

- ・アプリ Windy

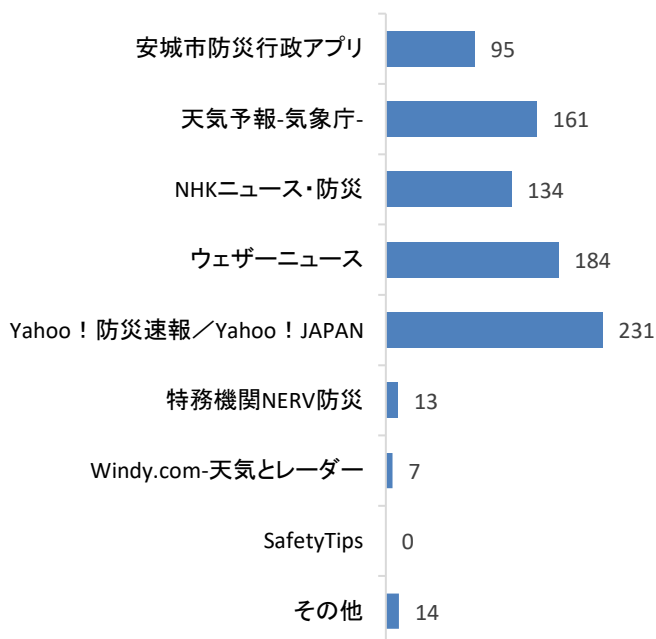
問13:あなたが災害時の気象情報の収集に利用しているSNSの種類を教えてください。(複数回答)



【主なその他の意見】

- ・お天気アプリ
- ・雨雲レーダー
- ・安城市防災行政アプリ
- ・Yahoo防災速報アプリ

問14:あなたが災害時の気象情報の収集に利用しているアプリの種類を教えてください。(複数回答)



【主なその他の意見】

- ・キャッチ
- ・スマートニュース
- ・ききくる
- ・PREP
- ・Google防災アプリ

問15：安城市の防災減災に向けて取り組んでほしいことや防災減災に関する意見があれば記入してください。
防災について、理解していないことが多いので、細かいことが書いてある小冊子など配布すると、市民のみなさんに伝わると思います。 公民館セミナーなどもあるとよいと思います。
避難所に関する情報(避難した人数や食料、冷暖房など)がわかると安心して避難所にいける。避難所の様子が分からないと不安。避難所はこのように開設しますなどを、広報などで特集してもらいたい。
実際の避難所の様子とか、準備されているものなどがわからないので、訓練として避難所体験などできるといいと思いました。体験することで避難時に必要なものがわかるかなと思います。
乳幼児や障がい者、高齢者等みんなが安心して避難できるよう防災対策を考えてほしい。 また、個人での防災等も誰もが分かりやすいように情報発信してほしい。
安城市で防災アプリの運用を開始したことを知りませんでした。広報は毎号必ず隔々まで読んでいますつもりなのですが、見落とししていたのかもしれない。一度のお知らせでは周知しきれないと思うので、運用前と運用後と複数回の宣伝をお願いしたいです。 避難所を利用したことがありません。避難所の備蓄状況の公開、避難所体験、実際に避難する際のアドバイス(多めに持参すべき物など)、平時に知ることができたら実際に避難する緊急時でも安心して向かえそうです。また女性や子供が避難所で変質者に襲われることがあると聞いたことがあり不安です。
冠水地域や通行止めの情報をマップ上で確認できるようになれば便利だと思う。 地域名だけ聞いても何処かわからないし、マップの方が迂回ルートを立てやすいから。
乳幼児用品の備蓄(各家庭でももちろん1週間ほど備蓄はしているのは大前提)や、子連れ、ペット可の避難所開設、医療面のスムーズな支援体制。大人はどうにかなるが赤ちゃんはどうにもならないから。子連れが集まっている方が気を使わないので。
最近冠水して通行止めになった道路に関して、冠水しないよう対策をしてほしい。
安城市は水害や土砂災害などの影響が少ない住みやすい街だと思っています。ただ市外へ通勤・通学者が多いことや、矢作川などは過去に決壊したことがあると考え、市内の情報だけでなく、近隣エリアや鉄道などの交通手段の情報もスムーズに入手できると嬉しいです。
ラインで浸水情報が来るのはありがたいのですが、地図だけではイマイチ場所がわかりづらい、イメージし難いところがあるので、Googleマップ等からの写真も付いているとわかりやすいです。
家の近くでよく川が氾濫しますが、市の方がすぐに通行止め処置をして下さるので昔より車水没の被害が少なくなっていて良いと思います。
避難所の開設をされているときには既に雨風が強くなっているときもあり、また閉鎖する時もまだ雨風が強いときもあり、避難される方のことが心配になったことがあります。避難される方の送迎や、避難所開設時間の延長を検討出来ないかなと思いました。
情報発信だけに予算を使うのは疑問。 災害後の早期復興に向けた取り組み準備などに力を入れて欲しい。
安城市は地域で決まった避難所はなく、各自身近な好きなどところに行くとき先日調べた時に知った。引越しの際に聞いたかもしれないが、調べるまで知らなかったし、正直その情報をどのくらいの人知っているのだろうと思う。もう少し防災のイベントなり、行きやすい催しが年に何度かあって色々な人が触れるきっかけがあれば良いのと思う。
大人は理解あるものとして、災害への備えの必要性を子どもたちに理解・納得させる参加・体験型のイベントをやって欲しい。ゲーム性のある企画だと、子どもたちも興味を持ってやると思う。
悪天候な時に停電や断水になった場合に備えて、各家庭で出来る対策や準備する物など、広報などで教えて欲しいです。
安城防災アプリのことをこのアンケートを通して知ることが出来良かったです。
避難所での運営が、避難者が主体であることを理解していない避難者が多いと感じる。 市民の意識改革を行なってほしい
車の水没を防ぐために、高台など車を止めれる場所を教えてください。
大雨の時、川が決壊しないよう補強工事をしてほしい
避難所(小学校体育館)と自宅の2階、どちらが安全かわからない。 ペットがいる家庭の避難方法について明確に記載して欲しい。

防災アプリがあることを知らなかったので早速ダウンロードしました。万が一の時に役立つと思います。
矢作川の付近をきちんと対策してほしいと思います。いつもそちらのほうに住んでいる方たち、大丈夫かなと思ってしまいます。
もっと簡単にライブカメラで川の状況とか街の様子とか見れるといい。
大雨の時、小学校は安全だったのですが、地域の人から通学路が危ないかもしれないと連絡があり、急遽保護者引き渡しとなったことがありました。市内の細かな情報は、住んでいる人が持っている事があるので、そういった情報を集約し、自由に見られる仕組みがあると助かるのではないかと感じます。
位置情報で危険かどうかわかるとありがたいです
大雨時の通行止情報が状況変化に応じてリアルタイムに一覧地図で見られると有り難い。
水害対策の土嚢、水嚢など、配布してほしい。
避難場になる体育館に空調を完備してほしい
河川の対策は順次行ったださってると思いますが、毎回同じ地域が水没する様なので、その辺りを中心にまず対策が済んでから順次行って欲しい。
スマホを所有していないのでアプリは利用できない。いろいろな事情の者がいることも理解いただき、その上で、なるべく公平に情報がいきわたるように工夫いただきたい。
行政などの情報を待つばかりではなく、普段から「自分の命は自分で守る」という意識を一人一人に持ってもらえるような呼びかけを繰り返し行い、個人の意識を高めることが大事なのではないかと思う。
アプリの名称募集との事ですが、防災など非常時に使用するものは、すぐ内容がわかるものでお願いします。防災関連のものは何でも、子供でも外国人でも、すぐに気づき理解できるものであってほしいです。
どの時点で避難するかのか判断が難しい。地域住民に向けて専門家が入った説明会を行ってほしい。また、実践的な避難訓練も必要。毎年9月に行うのではなく、夏、冬、夜間、雨天など、様々な状況で行うと違った気づきが得られる。町内には防災スピーカーはあるのでしょうか。いざというとき避難情報を発信してもらえると心強い。
短時間の大雨でもすぐに冠水してしまう決まった場所がいくつもあり、抜本的な対策には至ってないと感じております。近いうちに起こるであろう南海トラフ巨大地震や直下型地震などの震災や東海豪雨をも上回る水害に対して果たして本当に乗り越えられるのだろうか、なかなか不安は払拭しきれません。 これからもすべきことやどうやって取り組んでいくのかを定期的に発信し続け市民の意識高揚に繋がる工夫や努力を続けてください。
雨水の流れ道の確保。浸水することの多い道路に流れてくる水を、一時逃すための水溜め所を造る。流れ出る先の河川の拡幅、河川の深さをより深くしてほしい。
雨水の排水対策。家のまわりの排水能力が悪く、近所合わせて数台の車が水に浸かり、廃車になった。これは防災危機意識のない安城市と町内の怠慢。
主要道路の状況がライブカメラで見れると良い
備蓄品をしっかりと確保しておいてほしい
大雨が降ると毎回同じような場所が通行止めになり、地域住民は分かっているかもしれないが他市から来ている人には危険だと思います。何とか対策できないのでしょうか？
安城市民全てを平等にして欲しい。子連れを優先とかやめて欲しい。どんな年代の人も同じ命。子供を守るのは親のはず。それをフォローするのはもちろんします。 あと、避難所とかは、動物も連れていけるようなところを作って欲しい。ペットも家族です。車の中で避難とかしてる人なども、漏れることないように行政がきちんとして欲しい。
昔、浸水したことがある道路も下水設備が整備されてからの浸水はありません。安城市全体では浸水被害は減少しているイメージです。 しかし安城市広報等を活用して、引き続き「ハザードマップの周知活動」は必要です。半面、地震災害の場合は昔田んぼだった所も多く液状化現象が心配されます。水害と同様に「液状化危険地域マップ」の周知活動もしていくべきでしょう。
冠水しそうな道路のキャッチからの情報提供
防災に向けて、市民が準備した方がよいことを、シンプルに案内してもらえすと助かります。選択肢がありすぎると迷ってしまい、結局、何の対策もしないまま終わってしまいがちです。

<p>防災ラジオ、LINEで 情報が早くわかるので、ありがたいです。</p>
<p>東山学区は水害時避難場所がほぼ無い地域と思われる。高齢者も多い地域で地震時と同じ避難場所と認識している人も多い。地域にあった避難場所の認識の広め方が必要だと思う。</p>
<p>大雨で直ぐに通行止めになる道の周辺の河川が、氾濫しないようにする対策を、水害対策の第一優先課題として取り組んで欲しいと思います。</p>
<p>大規模災害時にデンパークを解放して、避難場所にしてはどうか？</p>
<p>この辺りは水の被害は今まで一度もないので心配はありませんが、家も古く強い台風では家屋の倒壊や停電などは心配です。素早い停電、断水の復旧などして頂けると安心できます。</p>
<p>矢作川・鹿乗川の洪水の危険性やリスク回避について、町内単位で具体的な詳しい情報を適切なタイミングで欲しい。</p>
<p>自力で移動できない高齢者や障害者はどのような手段で受け入れ施設へ行けばいいんだろう(介護タクシーも台数に限りがあるだろうし)。乳幼児がいる家庭もどこでも受け入れてくれるのかな？医療ケアも必要な夫や、乳幼児がいる娘たちを見ていると心配です。そのような人々も肩身の狭い思いをしなくていいような配慮をお願いします。</p>
<p>風水害だけでなく、地震防災等の避難所が足りないように思います。自宅地域は浸水等は大丈夫ですが、地震災害の時、マンションが多く世帯数に対する避難所のキャパが足りないように思います。</p>
<p>市の中でもいろんなアプリがあり、良く解らない。どんなアプリ、情報サイトがあるか表示して欲しい。</p>
<p>ゲリラ豪雨になった時に、道路が冠水するのが早いので、早めに通行止めなどの注意喚起をしてほしい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川の水位測定場所をもっと増やしてほしい。特にハザードマップで浸水危険場所にある河川の情報が一番、リアルタイムで確かであるため。※この情報が一番欲しいです。 ・ 防災アプリのメッセージが見つらく分かりにくい。特に終わった(リアルタイムではない)情報は、最初の画面では見えなくして欲しい。表示する場合は、せめて6時間以内ぐらいとし、それ以上の情報は別画面の履歴へと移してほしい。 ・ 現在の防災アプリのメッセージレベルの内容は、テレビ等でおよその情報を得られるので現在はあまり見ることはありません。
<p>他市に比べて安全な土地なので、そこまで心配はしていませんが、LINEなどでたくさん情報が入ってくるので、よく見えています。これからも情報をこまめに出していただきたいです。</p>
<p>最近の冠水状況に鑑み、短時間雨量が多い時の排水能力の総点検を行う必要がある。冠水道路のお知らせは有効であるが、お知らせだけでなく、根本的な排水対策をされたし。特に、農地を大規模な工場用地や宅地に変換した場合の排水能力に問題がある。</p>
<p>柿碕町に住んでいるのですが、高齢者のみで住んでいる家も多く非常時に冷静に判断・対処出来るのだろうか心配である。高齢者に最新のアプリや情報収集ツールは使いこなせない。最新ツールも大切だが、高齢者対策、弱者対策として従来の避難勧告等と呼びかける巡回の車は回数を増やす、早めに巡回するなど絶対必要だと思う。高齢者・弱者にも配慮した行政であるべきである。</p>
<p>8月15日の台風7号に関する安城市の防災対応は、災害対策本部の設置から避難所の開設・周知、市民への注意喚起など、とてもスピーディーに行われ非常によかったと思います。また、道路冠水・通行止め情報も分かりやすかったと思いますので、今後も同様に情報発信をしていただきたいと思います。</p>
<p>町内パトロールカーによる危険度の呼びかけ</p>
<p>自宅から避難する時は近くの学校の体育館に避難することになっています。でも学校の体育館にエアコンがなく、台風などからは逃れることができても熱中症で倒れるんじゃないかと心配しています。早く小中学校に体育館にエアコンを入れてください。電気エアコンだと停電の時は使えないので、何だったか忘れましたが電気でない方がいいそうです。また小学校の校庭は水はけが悪く、土砂降りの雨が降ると海になっています。10センチの水深で濡れると聞きますので、早く水はけを良くしてください(梨の里小学校です)。</p>
<p>安城市はアンダーパスや窪地が多いため、大雨の際に市から発信されるLINEでの「通行止め」のお知らせは助かります。ただ、解除された際の連絡が少し遅いように思います。</p>
<p>冠水の情報がLINEに流れてくるようになって、車で出かけるときに助かってます。</p>

避難所を開設しましたのお知らせはわかるが、何が用意されて何が足りないのかの情報がわからない。何を持って避難すればいいかなどの情報が普段から欲しいので、発信して欲しいと思います。
災害があつたり、水害があつたりしたら、具体的な町名を知らせて欲しい
側溝に泥や枯れ葉などがたまっていることがあるが、町内会清掃に頼りすぎている。老人が多くなり、重い蓋をあけての清掃はできない。定期的な業者による側溝の清掃が必要である。防ぐことが出来るのに、大雨で側溝があふれ、避難を難しくないようにしなければならない。
安城市防災行政アプリでかなり詳細な情報を頂いているので満足です。タイムリーな情報発信をお願い致します。
市内のアンダーパスの手前に、通過可能か不可かが判る信号機の設置を検討してください。
避難所での行動についての指針がない様に思う。実際に避難所に入る様な状態になれば行政の手が回らないので、避難者が自主的に行動しなければならない。避難者達が自分達で避難所の組織の構築をして自主的に運営して行ける様な住民の意識を作る必要がある。今までの防災訓練は形骸化して、切羽詰まった感が無い。いつも同じ内容だからだと思う。10数年前に避難所で訓練した事があるが、仲間内での活動なので決め事もスムーズに行ったがこれがあまり付き合いのない人達だと中々大変な事になると容易に想像できた。故に早急にシミュレーションを重ね、避難所での心構え、組織の構築等の指針を作る必要があると思う。
これをきっかけにアプリをインストールしました。もう少しPRが必要かと思えます
公園にも災害用の設備が欲しい。
安城市は山が無く比較的安全な地形ですが地震は何時やって来るか分かりません。大きな地震に襲われライフラインも寸断された場合安城市として市民の生命を最大限に守る対策をこれからも有識者を招いて市民会館等を利用して自由に市民参加してもらい危機意識を皆さんに持ってもらい、[こんな時どうする]みたいなテーマで講演会を実施していただきたいと思えます。
防災と言われるようになってずいぶん経つことと、私自身は他地域の大きな災害(特に地震災害)を見るたびに、災害用持ち出し袋の点検を行っております。しかし、人はすぐ忘れることも多いので、こまめに広報等で啓発していくことは必要だと思えます。また、ずいぶん高齢者の増えてきた昨今はスマホのアプリ等を利用していない方も多いと思われれます。個人情報に難しい現代ではありますが、自己責任だと切り捨てるのではなく、地域の連絡網とかが確実な避難を促す手段ではないかと思えます。
ネットが利用できない人への防災情報にも取り組んでほしい。サイレンとか広報車とか。
過去の災害状況を知らせる。海拔の表示を各所に示す。
近くが水没で道路が通行止めになったらしいが、詳細不明。後日でも良いから詳細情報を確認できるようにしてほしい。
防災上も水田は宝です。少しでも沢山残す施策を望みます。
防災・減災イベントの定期開催
道路や自転車道の大雨時の道路冠水や特に地下道の通行禁止発令システムの構築 ある程度の水量が出たら現場を周知している人が現地ですぐ遮断するようにする体制を行政と警察が一体になって作成してほしい
市内を流れる川に堆積している土砂を撤去し、大雨でも安心できる状況を作って欲しい。
「安城市防災行政アプリ」だけでなく、「正確な情報を流すルートの確立」や「災害時への事前準備」などにも普段から留意して頂きたい。(例;町内会の活用、専用の防災掲示板設置、生活必需品の備蓄、ライフラインの事前トラブル回避策等)
携帯トイレが大事と考えます。自宅に準備するよう啓発を継続的に実施して頂きたし。